

富士印刷 株式会社 埼玉事業部



生産プロセス

贈呈理由 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現



工場外観

富士印刷株式会社は1946年に創業し、『社会とともに歩み印刷文化を通じて社会に貢献する』をポリシーに[自慢できる設備][誇れる品質][確実な納期][信頼できる人間関係][5Sの徹底]というコンセプトの実現に努めてきた印刷・インライン加工および製本を手がける印刷会社である。

企業貢献が可能なヒートポンプシステム

埼玉工場が新設された当時から工場内の空調や機械冷却の熱源として吸収式冷温水発生機を使用してきた。長年にわたる使用から冷凍能力の低下やメンテナンス費用などの負担を改善するためにリニューアルすることを決め、エネルギーコストを削減することで製品原価を抑えた高品質な商品をお客様へお届けすることを念頭におき、現代社会における企業貢献としてCO₂排出量の削減や省エネ性の向上を重視し、「高効率ヒートポンプシステム」を採用することを決めた。

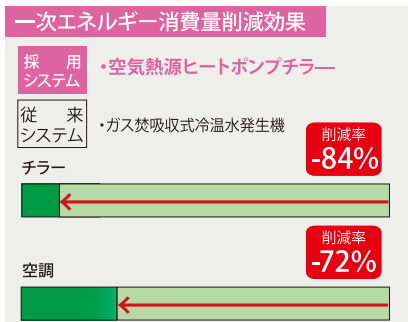
省エネ・省コスト・省CO₂を同時に達成

今回のリニューアルでは、印刷工程におけるオフセット輪転機等の冷却熱源を空冷式ヒートポンプシステムとし、工場内の空調熱源を空冷式高効率ヒートポンプシステムに熱源転換。モジュールタイプの空冷式ヒートポンプにすることでシンプルな設備構成による信頼性も向上し、メンテナンスも容易となった。また、水冷式から空冷式に変更したことで水道使用量の大幅な削減にもなった。旧システムと比較したエネルギーコストでは約81%、CO₂排出量では約84%の削減を見込んでおり、コストダウンと環境改善の両立が期待できる。

富士印刷株式会社では、品質・コストサービス・環境改善などを求められる今日、社会とお客様と社内の共生をテーマに活動していくなかで今後も省エネ性や環境性を重視した設備を導入し、地球環境保護に向けた取り組みを進めていく。



空気熱源ヒートポンプチラー



[諸元] 同一負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※1.電気(全日)9.76MJ/kWh※1.電気(昼間)9.97MJ/kWh
※1.電気(夜間)9.28MJ/kWh※2.都市ガス45MJ/Nm³
※1.「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(平成28年3月1日改正)
※2.「エネルギーの使用の合理化に関する法律第15条及び第19条の2に基づく定期報告書記入要領別添資料4」

富士印刷株式会社 埼玉事業部

所在地:埼玉県加須市新利根2-8-1

■蓄熱設備概要
生産プロセス用冷熱供給システム
熱源機:空気熱源ヒートポンプチラー 180kW×1台
360kW×1台 [東芝キャリア]